

情 報 公 開 文 書

研究の名称	同居するきょうだい構成が児の発達に与える影響（エコチル調査）
整理番号	R2018020（臨30-20）
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦
研究の概要	<p>【研究対象者】 エコチル調査参加に同意された方とお子さま 100,144 組</p> <p>【研究の目的・意義】 子育てにおいて、子の世話・保護といった「親の働きかけ」は、第1子はその子だけに注がれますが、第2子以降の子は先に生まれた子がいるため独占できません。第2子以降は親からの働きかけは少なくなってしまう一方、親の子育てに対する戸惑いが軽減されている可能性、また、きょうだいとの競争関係や支援行動あるいは第2子以降のほうが大きな体格で生まれる傾向などから、第2子以降が不利な状況とも言えません。</p> <p>そこで、本研究では、きょうだい構成が子どもの発達にどのような影響を与えるかを調べ、得られた結果が子育てのアドバイスにつながる知見となるようまとめていきたいと考えています。</p> <p>【研究の方法】 出産前からお子さんが3歳になるまでにご回答いただいた質問票の回答に基づき解析を行います。本研究のための新たな情報収集は行いません。</p> <p>【研究期間】 研究期間：2018年6月～2023年3月</p> <p>【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	乳幼児期の発達チェック項目（ASQ）による発達評価、同居するきょうだい構成（きょうだいの人数、性別、年齢）、児に関する変数（在胎週数、性別、出生時の異常、児の体格、同居家族の構成、栄養方法、睡眠時間、保育施設利用の有無）、母親に関する変数（年齢、婚姻状況、妊娠中ならびに出生後の喫煙・受動喫煙、妊娠中ならびに出生後の飲酒・受動飲酒、学歴、世帯収入、健康度、不安抑うつ、愛着尺度、ストレスになりうる出来事、育児ストレス、パートナーの育児参加、子どもと過ごす時間、次子妊娠）など
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>TEL:076-434-7277 FAX:076-434-5023 E-MAIL aktsuchi@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 土田 暁子・助教</p>

